

# 第3回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議 in 沖縄」

## ■開催趣旨

デジタルアーカイブ学会は、現場の“羅針盤”としての「デジタルアーカイブ憲章」の策定に向けて、シンポジウム「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」を、第1回（2022年8月）、第2回（2022年10月）と、オンラインで開催し、多くの視聴者に恵まれました（概要はこちら）。

憲章案に明記した、社会にとっての“記憶する権利”という新たな概念をめぐる議論をはじめ、デジタルアーカイブ機関や企業の担当者、研究者、クリエイター、政府関係者などの登壇者から、それぞれの現場での取り組みと問題意識が伝えられ、デジタルアーカイブ利活用促進の重要性を共有する場となっています。同時に、メタデータ整備や人材育成といった「足腰」の問題、海外とのさらなる連携の必要性、民間企業・団体だけで取り組むことの限界など、今後も検討すべき課題、論点も数多く抽出されました。

そこで当学会では、第3回の円卓会議を開催します。初めてリアルに登壇者が集い、議論を深めてゆきます。

憲章案の柱の一つが、地域・分野ごとの取組を横断的につなげる「ネットワークの構築」です。地域の記憶を、次の世代にしっかりと継承するために何が求められるのか。今回の円卓会議では、開催地・沖縄でデジタルアーカイブに関わる方々が登壇、取り組みを語っていただきます。そして、他の地域に拠点を置く、異なる分野の専門家とを交え、討論します。

デジタルアーカイブ憲章は聴講のみならず含めて「みんなで創る」ものです。ぜひとも、この円卓にお集まりいただき、お知恵をお貸しいただけますよう、お願いいたします。

## ■主催 デジタルアーカイブ学会

■開催日時 2022年11月26日（土）10時～12時

## ■場所

琉球大学 50周年記念館・多目的室  
（沖縄県中頭郡西原町字千原1番地）  
※千原キャンパス西原口（南口）が最寄りです。  
※円卓会議の様子はインターネットでのライブ配信/  
アーカイブ配信を検討中です。決まり次第、ご案内します。

## ■参加費

デジタルアーカイブ学会正会員：3000円  
同学生会員：無料  
同賛助会員：3000円  
非会員：5000円  
現地非会員：3000円（沖縄在住または勤務の方）

## ■お申込み

<https://peatix.com/event/3351760>  
※「研究大会参加費」を購入してください。  
※会場での参加者は、定員になり次第、  
締め切りとさせていただきます。

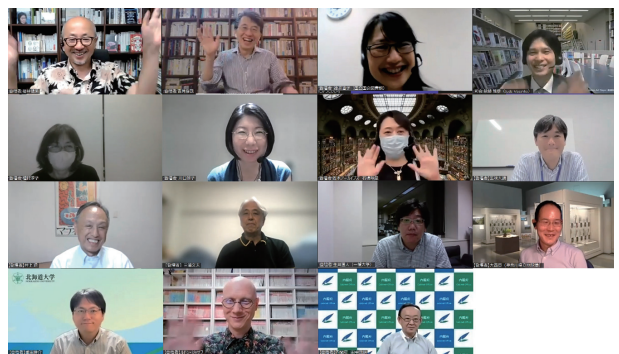


## ■プログラム

- ・挨拶：吉見俊哉  
（東京大学大学院教授、デジタルアーカイブ学会会長）
- ・本会議の趣旨と進行：福井健策  
（弁護士、デジタルアーカイブ学会法制度部会長）
- ・デジタルアーカイブ憲章（案）の概要：徳原直子  
（国立国会図書館、デジタルアーカイブ学会員）
- ・ラウンドテーブル
- ・参加者からの質問・意見

## ■登壇者（五十音順）※2022年10月23日現在

- ・ 太下義之 （文化政策研究者、同志社大学教授）
- ・ 加藤 諭 （東北大学学術資源研究公開センター准教授）
- ・ 呉屋美奈子 （恩納村文化情報センター係長、沖縄国際大学非常勤講師）
- ・ 平良斗星 （公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事、  
沖縄デジタルアーカイブ協議会運営委員）
- ・ 田村卓也 （南城市教育委員会デジタルアーカイブ専門員）
- ・ 徳原直子
- ・ 平田大一 （沖縄文化芸術振興アドバイザー、演出家、脚本家、  
南島詩人）
- ・ 福井健策：司会
- ・ 三好佐智子（EPAD2022 事務局長、有限会社quinada 代表取締役社長）
- ・ 柳与志夫（東京大学大学院特任教授）



第1回「デジタルアーカイブ憲章をみんなで創る円卓会議」  
（オンライン）登壇者

■デジタルアーカイブ学会第7回研究大会（沖縄）についてはこちらをご覧ください。

<https://digitalarchivejapan.org/kenkyutaiikai/7th/>

